

# 八幡生健会の活動紹介 全生連の機関紙「守る新聞」より 小倉生健会も学びたい、「私の要求」運動

正月を襲った能登半島地震で大きな被害を受けた自治体の一つ、珠洲市は能登半島の北端にあります。1954年の市制施行当初、3万8000人を数えた人口は現在、1万2000人足らずと3分の1以下となっています。東日本大震災直後の2011年秋、この珠洲市取材しました。

## 経済 アングル

# 鹿児島でも富山でも 勝利判決 続く「生活保護費」引下げ裁判

2024年1月25日(木曜日)



富山地裁 厚労相の判断過程に過誤

## 生活保護減額取り消し

富山地裁 厚労相の判断過程に過誤



鹿児島地裁 原告勝訴は全国13例目

## 生活保護減額は違法

富山地裁 厚労相の判断過程に過誤

富山地裁 厚労相の判断過程に過誤

富山地裁 厚労相の判断過程に過誤

鹿児島地裁 原告勝訴は全国13例目

鹿児島地裁 原告勝訴は全国13例目

## 「私の要求」30件を提出



「私の要求」を提出した参加者(2023年11月21日)

八幡生活と健康を守らない。貴がほごほごし、歩みにくく替えてほ... 没は通行に危険なので改修してほしい、吉田久子さんは「年金が下がるばかりで保険料、介護保険料、介護料、介護料を払うと1か月8万7592円。特に介護保険料が高いので減免してほしい。」「返事が悪いとか解決しなかったら、また出せばいい」と話していました。(吉田文弘さん)

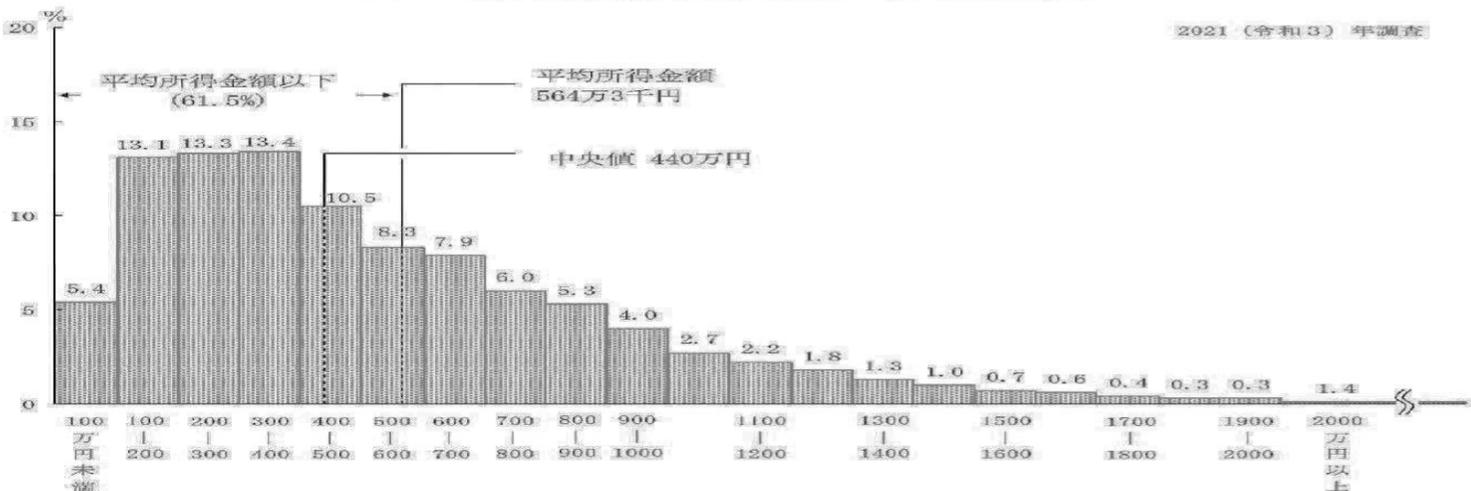
まで原発建設をめくり住民が二分されています。関西電力が北部の高屋町、中部電力が東端部の三崎町寺家地区に立地を計画。地元の北陸電力は調整役という3社体制が構築されていました。推進派は立地地域の住民の子どもを原発賛成条件に関西電力や中部電力に採用するなど、なすりつけられ、反対派を切り崩しにかかります。推進派と賛成派の天下分け目となる1993年の市長選で反対派は僅差で勝利

## 原発を拒否した町で

できませんでした。しかし、投票総数が合わないことが問題となり、最終的に最高裁が「開票手続きの根幹において誤りがあった」と選挙無効を宣言したのです。出直し選挙でも推進派が当選したものの、当初の市長候補(現職)は立候補すらできませんでした。市長選では負けたものの、反対派は団結してねばり強くなったかいを続け、2003年12月、電力3社は原発計画の凍結を発表したのです。(清水渡)

立地予定地だった高屋町も寺家地区も海沿いになります。高屋町は道路の寸断で孤立状態になり、寺家地区は揺れに加え津波被害が直撃しました。もしこの場に原発が建設されていたら、東電福島原発と同様の事故が起き、住民たちは震災被害に加え、故郷喪失となつたおそれもありました。住民たちの団結とたかがいを守った地域への一刻も早い救援と復旧をお願いします。(清水渡)

図9 所得金額階級別世帯数の相対度数分布



## 「所得金額階級別世帯数の分布」です

左図は、2021年の年間「所得金額階級別世帯数の分布」です。1世帯の人数は様々です。平均所得額は564万3千円です。中央値は440万円です。中央値とは、全ての世帯を所得順に並べた時の真ん中の世帯の年間所得です。

みなさんの世帯と比べていかがですか。自分より所得が少ない世帯があると納得しないでください。所得が少ないことに憤慨しましょう!

- ※問題は、
- ① 200万円以下の世帯が、18.5%もあること。
  - ② 所得が少ない世帯が圧倒的に多いこと。
  - ③ 2000万円以上の世帯が右の方に限りなく伸びていること。